

2005年 6月26日 主日礼拝

司 会 小田茂兄 新田兄 野口和兄  
奏 楽  
祈 禱 石橋兄 川村師 川田兄

使徒信条

賛 美 聖歌529番 (御手の中ですべては変わる)  
(イエスあなたの名は何よりも)

聖 書 使徒行伝8章1～8節

音 楽 森と泉の仲間たち  
ゴスペルクルー

メッセージ 「宣教拡散不防止現象」 大川従道牧師

賛 美 「君と共に行く」(723・献金)  
主の祈り  
祝 禱

「ただ、聖霊があなたがたにくだる時  
あなたがたは力を受けて、  
エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、  
さらに地のはてまでわたしの証人となるであらう。」

(使徒一の一)

【大和ニュース】

- ・ 本日4時からの「宴会礼拝」にエバンジェリスト代表の福沢満雄先生が来られます。詩吟をなさりながら聖書の話をするという新しい世界に挑戦しておられます。
- ・ 本日の「洗礼準備会」は9時から、2階レインボールームにて、転入会希望者も。
- ・ 本日、手話、学生、青年、ゴスペル、アブラ会、モーセ会、学生ワーシップ、役員会あり。
- ・ 今年も、半年守られたことを感謝し、「上半期感謝献金」を捧げましょう。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！ 水曜夜7時半と木曜朝10時半。
- ・ 「合同ルツ会」は、木曜昼食後、3階フェローシップルームにて行います。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は山本神学生。祈り込みましょう。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時半。説教は、グレッグ・ローリー師(FMラジオ持参)。
- ・ 来週の「宴会礼拝」メニューは、ワーシップコンサート。ダンスも加えた熱い賛美と礼拝です。

## 石の枕

ミケランジェロは三十代前半のころ、バチカンに壮大な墓を彫るために、当時の法王からローマに呼び寄せられたが、代わりに絵画を描くように依頼された。彼の情熱は彫刻だったのに、法王の要請でやむなく引き受けた。

この仕事の注文は、ライバルたちの仕組んだ罠だったらしいのだが、不屈の精神(Commitment)で創作に専念し、みごとに描き上げた。

彼は4年間にわたって、仰向けの姿勢でシスティナ礼拝堂の天井に絵を描き続けた。これは大変な労力を要する作業で、そのために彼が払った代償は大きかった。視力は衰え、肉体はボロボロになった。彼はこう語っている。

「拷問のような4年間の末、実物大より大きい400人以上の人物を描いた結果、私は旧約聖書のエレミヤのように年老いて疲労困憊した。当時まだ37歳だったが、年老いた私の姿を見て、友人でさえそれが私だとは分からなかったほどであった」。

この傑作はヨーロッパ絵画のその後の歴史を永久に変えたというのが、美術史家たちの見解である。この傑作は、彼の彫刻と建築の基盤にもなった。

彼の最後までやり通すという不屈の精神は、絵画の全体を見通す視野の広さと細部にまでこだわる注意力の両方に表れている。誰も注意を払わないような暗い隅っこまで、なぜそんなに丹念に仕上げているのかとたずねられて、ミケランジェロはこう答えている。「神様がご覧になるからだ」。

不屈の精神を持たずに、偉大なリーダーになりえた者など、一人もいない。

大和の伝道者たちも、ICAの教師たちも、またそれを支える家族たちも、本当に忠実に誠実に、主の教会に仕えておられる。ミケランジェロのように、視力が衰えても、死力を尽くして、肉体がボロボロになるまで、戦っておられる。

恒例の「上半期感謝献金」は、そういう主のしもべたちを支えるために用いられます。ご協力くださると幸いです。

宿題(祝大) 今週もむさばるように聖書を読みましょう！

Aコース:使徒行伝7章～10章 Bコース:ヨブ記7章～25章